

県内取組事例

事業者：有限会社四季亭（所在地：高鍋町）
 資本金：500万 業種：宿泊業 従業員数：43名

スマホアプリ

事業名：スマホアプリを活用した情報共有手段デジタル化推進事業



スマホアプリで情報共有の速度向上・円滑化、事務作業負荷軽減を実現し、DX化推進へ。

【概要】

- ・四季亭スタッフ向け（社内用）のアプリを構築し、社内間の情報共有に加え、外部関係業者とのコミュニケーションツールとしても利用できるものとする。情報共有の円滑化はもちろん、デジタル変革による業務効率化も図る。

【主な取組】

- ・社会人チームのキャンプや地元イベントなどの催し等を受け入れる際に発生するタスクに対してタスク毎にチャットでやり取りができる機能を用いる。四季亭スタッフとその関係業者間での情報共有をスムーズかつ記録が残る形とした。
- ・会社からスタッフへの情報配信、スタッフ間での連絡手段としてもアプリを活用。
- ・IoTセンサーを用いた出退勤打刻機能も実装し、デジタルへ変革及び事務作業の効率化を推進。

【事業の目標】

（定性目標）

- ・スタッフへの情報配信速度向上 ・外部関係者との円滑な情報共有
- ・アナログ作業の廃止及び事務作業効率化

（定量目標）

- ・SECURITY ACTION宣言を2023年11月までに実施
- ・労働生産性年1%以上の向上：
R5年目標 1,482,989（R4実績比較1.46%増）

【取組を行う背景】

- ・会議・宴会、婚礼・法要、スポーツ合宿等のイベント業務において発生するスタッフ間や関係業者間でのやり取りは対面や電話が多く、記録として共有しづらい。
- ・会社からスタッフへの通達事項はシフト勤務制の為、伝わったかどうかが不明。
- ・スタッフの出退勤は紙のタイムカードを使用。その後、タイムカードを見ながらExcelにて集計作業を行い、給与反映用シートに転記・修正を行っている。

【効果（成果）】

- ・お知らせ配信を通じて即時での一斉連絡が出来るようになった事で、情報到達時間の削減に繋がった。さらに、Push通知での社員が気付きを得る機会にもなった。
- ・スタッフおよび関係業者で共有できるタスク型チャット機能にて、打合内容の記録が残るようになり、当日不参加メンバーにも情報が伝わる環境が整備された。
- ・タイムカードからの転記集計業務が省略され、担当社員の業務負荷の軽減につながった。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- ・タスク型チャット機能強化（統計項目見直し・人材育成資料としての利活用）
- ・ナレッジ集としての活用（アプリ内に情報を蓄積・保管し、過去データの閲覧性を強化）
- ・宿泊業務への活用（例：チェックアウト後の清掃時に発見した落とし物をリアルタイムにフロントスタッフへ共有する等）

